

※第三者評価委員会資料

2023. 3. 11

令和4年度授業者の自己評価結果について

- 1 実施日：2月中旬
- 2 延べ科目数：57科目（53人）
- 3 表の見方：各項目の上段は%（四捨五入）、下段は延べ人数

	項 目	自 己 評 価			
		1 そう思う	2 だいたい そう 思う	3 どちらか というと そうは思 わない	4 そうは思 わない
学習集団 づくり	① 互いに認め合いながら学習できる学習集団づくりができていた。	21% 11人	72% 38人	8% 4人	
目標の設 定	② 授業の系統性を考え、シラバスに位置づけ、ねらいや目標を生徒に示した上で臨んだ。	28% 15人	66% 35人	6% 3人	
	③ 生徒の実態を十分に考慮して、授業を構成するなど、計画をたてて行った。	17% 9人	74% 39人	9% 5人	
	④ 授業のねらいや目標が達成できた。	8% 4人	75% 40人	15% 8人	2% 1人
教材・教 具の工夫 等	⑤ 準備した教材・教具や授業の展開のしかたは適切であった。	19% 10人	62% 33人	19% 10人	
発問・指 示の適切 さ	⑥ 生徒の理解を助けるように、発問や指示を適切に行った。	25% 13人	66% 35人	9% 5人	
活動の場 の構成	⑦ 生徒は、意欲的に学習に取り組んでいた。	47% 25人	47% 25人	4% 2人	2% 1人
	⑧ 授業に集中しやすい環境や雰囲気が形成できた。	25% 13人	70% 37人	6% 3人	
	⑨ 一方的な説明だけではなく、生徒が主体的に活動する場面を設けた。	38% 20人	45% 24人	15% 8人	2% 1人
	⑩ 生徒の発表などに対して、意欲を引き出すように働きかけた。	11% 6人	58% 31人	30% 16人	
個の学習 の成立	⑪ 生徒一人ひとりの学習状況の把握に努め、必要な支援を行った。	17% 9人	60% 32人	23% 12人	

4 分析

- (1) 高い自己評価（1、2が90%以上）項目：①、②、③、⑥、⑦、⑧ +2項目
- (2) 低い自己評価（3、4が10%以上）項目：④、⑤、⑨、⑩、⑪ -2項目
- (3) 改善が必要な評価（3、4が15%以上）項目：④、⑤、⑨、⑩、⑪ +3項目

※高い事項評価項目は前年比プラス2項目、低い自己評価項目は前年比マイナス2項目。ただし、改善が必要な評価項目は前年比プラス3項目。特に、⑨と⑩の項目は授業改善が必要である。これまでの授業スタイルを全面的に見直し、ICT活用授業など、授業者の意識改革が必須である。